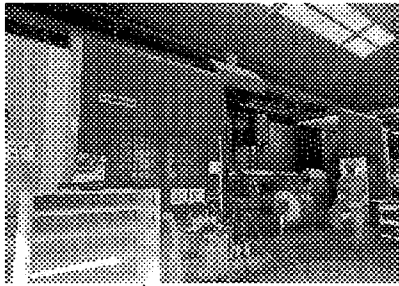


新工場を建設 複合旋盤増強

八瀬鉄工所



【姫路】八瀬鉄工所（兵庫県姫路市、八瀬弘司社長）は、複合旋盤を導入する。新たに設備用の工場も新設し、2023年春頃の稼働を目指す。複合旋盤の導入により自動車関連部品製造に使用するプレス機向けや水素ステーション向け、液化天然ガス（LNG）を使用する船舶向けなど、より精度が高いクランクシャフト製造への参入を目指す。

精密クランクシャフト参入

複雑形状も加工できる複合旋盤を導入する新工場は本社工場近くに建設する。延べ床面積は270平方メートル。投資額は非公開。

同様の機械はすでに3台あるが、従来より既存の複合旋盤のうち1台、新たな複合旋盤の導入で、より精度が高いクランクシャフト製造への参入を目指す。

ワークサイズが1.5倍の約6分の加工が可能になるほか、より精密に加工が可能になる。今後、電気自動車関連部品製造に使用するプレス機向けのクランクシャフトの製造がメイン。粗加工から仕上げ加工まで一貫で製造できることが強み。2年後の創業100年に向けた準備を行っていく。

クランクシャフトのほか、水け、既存工場もレイアウト変更などし、環境整備を行っていく。